## 神戸運輸監理部管内における

## 船員災害疾病発生状況

令和2年度

令和4年3月

神戸運輸監理部 海上安全環境部 船員労働環境・海技資格課

はじめに

この報告書は、船員の災害・疾病の発生状況を明らかにするため、船員法第111条及び同法施行規則第73条の規定に基づいて神戸運輸監理部管内の船舶所有者から提出された「災害疾病発生状況報告書」をもとに、その状況を作業別・態様別・年齢別・病類別にとりまとめたものです。

災害・疾病により貴重な人命を失ったり、心身の損傷を生じることは、船員のみならず 家族や企業、ひいては社会の大きな損失となります。

船員の災害・疾病の防止のためには、常に船内の不安全状態や不安全行動を除去する事が必要であり、船舶所有者や船員、その他関係者の皆様方の日頃の努力の積み重ねが欠かせません。

本報告書が、皆様方が船員の災害・疾病発生の実態を十分に把握され、船員という職業を安全かつ衛生的で安心して働ける魅力あるものとしていく上での助けとなりましたら大変幸甚に存じます。

令和4年3月

神 戸 運 輸 監 理 部 海上安全環境部 船員労働環境・海技資格課

### 目 次

I		報台	が一般	安																				
	1	幸	3 告	の想	图旨			• • •																
	2	文	<b>才象船</b>	員の	範囲																			1
	3	蓒	3告の	対象	となる	る災害	害及	び疫	族病															1
	4	숙	3和2	年度	の管内	内にる	おけ	るが	害	疾症	有発	生	犬汅	<b>この</b> :	持徴	t								1
Π		災害	<b>張及び</b>	疾病	の発生	主状》	兄																	
	1	災	纟害及	び疾	病発生	主状》	兄の	概要	Ę															2
	2	祁	戸運	輸監	理部領	き内 の	と全	عا	<u>:</u> の	比輔	交													
		(1)	災害	発生	t 状 i	兄 -																		4
		(2)	疾掠	発生	t 状 i	兄 -																		6
		(3)	船員	災害	防止基	基本割	計画	の源	域少	目標	票と	神戸	三道	輸.	監理	部	管内	亨	績(	の推	៛移	, <b>.</b>		8
	3	災	纟害発	生状	況の記	羊細																		
		(1)	作業	別災	害発生	主状》	兄	• • •																9
		(2)	態様	別災	害発生	主状》	兄	• • •															• •	10
		(3)	被災	場所	別災割	<b>害発</b> 生	主状	況																11
		(4)	起因	別災	害発生	主状》	兄																	11
		(5)	年齢	別災	害発生	主状》	兄	• • •															• •	12
		(6)	程度	別災	害発生	主状》	兄																	12
		(7)	陸上	労働	者のす	花傷 🤄	災害	٥ع	比	較													• •	13
		(8)	死亡	及び	行方さ	下明?	災害	の根	要														• •	14
	4	疫	病発	生状	況の記	羊細																		
		(1)	病類	別疾	病発生	主状》																		15
		(2)	年齢	別疾	病発生	主状》	兄	• • •															• •	16
		(3)	程度	別疾	病発生	主状》	兄																	16
	資	米	4]																					17

#### I 報告の概要

#### 1 報告の趣旨

この報告書は、神戸運輸監理部管内の船舶所有者から船員法第111条及び同法施行規則第73条の規定に基づいて報告された「災害疾病発生状況報告書」を取りまとめたもので、船員の災害・疾病の実態を明らかにするとともに、今後の船員災害防止対策に活用できるよう編集したものです。

#### 2 対象船員の範囲

船員法第1条に規定する船員

#### 3 報告の対象となる災害及び疾病

令和2年度(令和2年4月1日~令和3年3月31日)において、船舶内及び船内 作業に関連して船舶と密接した場所で発生した休業3日以上(発生当日を含む)の災 害及び疾病(死亡及び行方不明を含む)を対象としています。

#### 4 令和2年度の管内における災害疾病発生状況の特徴

災害の発生については、<u>前年度(令和元年度)を上回りました。</u>前年度に比べ、発生数で7人、船員千人当たりの発生率(以下「千人率」)で2. 1ポイント増加しています。千人率については、<u>昨年度と同様に全国値よりも低い結果</u>となっています。(表-3、図-2 (2)参照)

船種別に見ると、<u>漁船の千人率が大幅に増加し、全国値を大きく上回っています。</u> (表-3、図-2(4)参照)

災害による死亡は発生していません。

疾病の発生については、<u>前年度(令和元年度)を下回りました。</u>前年度に比べ、発生数で3人、千人率で0. 6ポイント減少しています。千人率については、<u>全国値を下回っています。</u>(表-3、図-3(2)参照)

病類別の発生状況を見ると、新生物が最も多く、次いで循環器系、感染症と続いています。疾病による死亡は2件発生しています。

#### Ⅱ 災害及び疾病の発生状況

#### 1 災害及び疾病発生状況の概要

神戸運輸監理部管内における令和2年度の災害及び疾病の発生総数は55人、千人率は、14.8%となっており、前年度と比較して発生総数で4人、千人率で1.3ポイントの増加となりました。

船種別では、漁船が千人率38.0%(発生数17人)と突出しており、次いで一般船舶が15.1%(29人)、その他船舶が6.7%(9人)と続いています。

各船種別の千人率を前年度と比較した場合、一般船舶で4.3ポイントの増加、漁船で6.1ポイントの増加、その他船舶で3.8ポイントの減少となりました。

表 - 1	災宝及	び疾病の	発生状況
4X I	火市及	しかかたかりしょ	/ <del>JT.</del> IT 1N ///

区分	船種別	合 計	一般船舶	漁船	その他
合	計	55 (2)	29 (2)	17	9
	ĀI	14.8	15.1	38.0	6.7
	本 局	25	9	13	3
災	本 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	8.1	6.0	29.1	2.6
	姫路海事事務所	6	5	0	1
	<b>始                                    </b>	9.7	11.7	0.0	5.2
害	< 小 計 >	31	14	13	4
	< 小 計 >	8.4	7.3	29.1	3.0
	本局	22 (2)	14 (2)	4	4
疾	一	7.1	9.4	8.9	3.5
	<b>作 吹 冶 市 市 攻 </b>	2	1	0	1
	姫路海事事務所	3.2	2.3	0.0	5.2
病	< 小 計 >	24 (2)	15 (2)	4	5
	< 小 計 >	6.5	7.8	8.9	3.7

- (注) ①表中、上段は「発生人数」(人)、下段は「千人率」(‰)。
  - ②発生人数欄の()内の数値は、死亡及び行方不明数(内数)。
  - ③船種「その他」とは、曳船・はしけ・起重機船等の作業船及び官公庁船等。
  - ④「千人率」は、船員(予備船員等を含む)千人当たりの、1年間の災害・疾病の発生人数。

千人率 (‰) = 年間の災害発生人数又は疾病発生人数 × 1,000

⑤千人率を算出するに当たっての船員数 (予備船員等を含む) は、令和2年度事業状況 報告書による令和2年10月1日現在のものです。

表-2 神戸運輸監理部管内の船員数(令和2年10月1日現在)

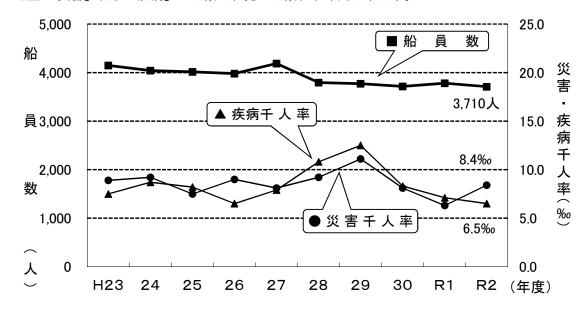
本支局別	船種別	合	計	一般船舶	漁	船	その他
合	計		3,710	1,919		447	1,344
本	局		3,090	1,491		447	1,152
姫路海事事	事務所		620	428		0	192

(注) 船員数(予備船員等を含む)は、令和2年度事業状況報告書による。

表-3・図-1 神戸運輸監理部管内の災害及び疾病の発生状況の推移

		合 計	一般船舶	漁船	その他
	H23	39 ( 9. 4)	8 (3.9)	15 (29.0)	16 (10.2)
	24	37 (9.2)	13 (6.6)	16 (29.5)	8 (5.2)
	25	31 (7.7)	11 ( 5. 5)	12 (23.5)	8 (5.3)
災	26	36 (9.0)	15 ( 7. 5)	11 (26.5)	10 (6.4)
	27	34 (8.1)	18 ( 8.5)	12 (24.6)	4 ( 2.5)
	28	35 ( 9. 2)	14 ( 8. 1)	14 (27.8)	7 (4.5)
害	29	42 (11.1)	8 (4.5)	21 (40.2)	13 (8.7)
	30	30 (8.1)	13 (7.6)	6 (11.7)	11 (7.3)
	R1	24 ( 6. 3)	4 ( 2. 3)	8 (16.0)	12 (7.9)
	R2	31 (8.4)	14 (7.3)	13 (29.1)	4 (3.0)
	H23	31 (7.5)	12 ( 5.8)	17 (32.8)	2 (1.3)
	24	35 (8.7)	9 (4.6)	18 (33.1)	8 (5.2)
	25	33 (8.2)	13 (6.5)	13 (25.5)	7 (4.7)
疾	26	26 (6.5)	17 (8.5)	7 (16.9)	2 (1.3)
	27	33 (7.9)	18 ( 8.5)	8 (16.4)	7 (4.4)
	28	41 (10.8)	20 (11.5)	11 (21.8)	10 (6.4)
病	29	47 (12.5)	26 (14.8)	6 (15.3)	13 (8.7)
	30	31 (8.3)	18 (10.6)	6 (11.7)	7 (4.7)
	R1	27 (7.1)	15 ( 8. 5)	8 (16.0)	4 ( 2. 6)
	R2	24 (6.5)	15 ( 7. 8)	4 (8.9)	5 ( 3. 7)
	H23	4, 149	2, 068	518	1, 563
	24	4, 043	1, 975	543	1, 525
船	25	4, 016	2, 007	510	1, 499
ημ	26	3, 978	2, 001	415	1, 562
員	27	4, 197	2, 129	488	1, 580
	28	3, 794	1, 736	504	1, 554
数	29	3, 772	1, 761	523	1, 488
~	30	3, 716	1, 702	511	1, 503
	R1	3, 783	1, 758	501	1, 524
	R2	3, 710	1, 919	447	1, 344

(注)「災害」及び「疾病」の人数は、発生人数、()内は千人率。



#### 2 神戸運輸監理部管内と全国との比較

#### (1) 災害発生状況

神戸運輸監理部管内における令和2年度の災害発生総数は31人、千人率は、8.4%であり、前年度に比べて災害総数は7人、千人率では2.1ポイント増加しました。全国の千人率の比較では、全国値を2.0ポイント下回っています。

各船種別に比較した場合、一般船舶が全国値を3.8ポイント下回る値となりました。また、漁船、その他船舶では全国値を上回る結果となっています。

図-2(1) 全国の災害千人率との比較

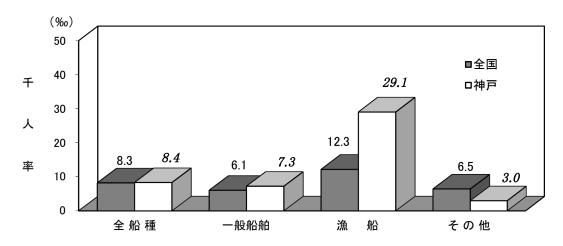


図-2(2) 災害千人率の推移【全船種】

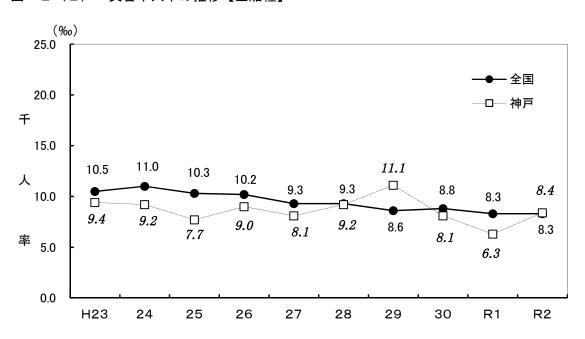


図-2(3) 災害千人率の推移【一般船舶】

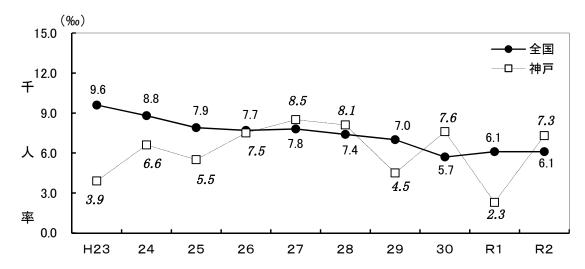


図-2(4) 災害千人率の推移【漁 船】

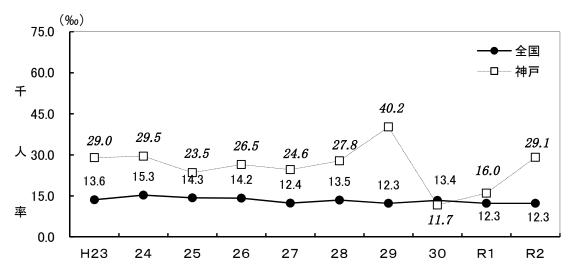
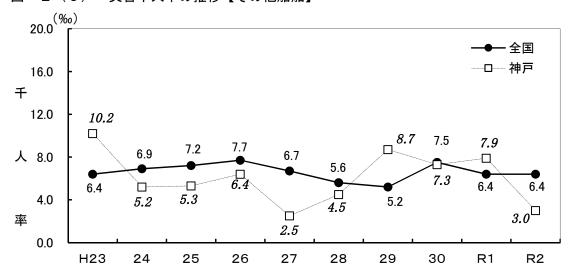


図-2(5) 災害千人率の推移【その他船舶】



#### (2) 疾病発生状況

神戸運輸監理部管内における令和2年度の疾病発生総数は24人、千人率は6.5%であり、前年度と比べて疾病総数は3人、千人率では0.6ポイントの減少となりました。全国の千人率の比較では、全国値を1.2ポイント下回っています。

船種別に比較した場合、漁船で、全国値を8.2ポイント上回り、一般船舶、その他船舶では、全国値を下回る結果となりました。

#### 図-3(1) 全国の疾病千人率との比較

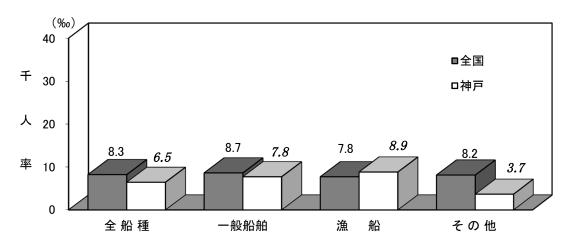


図-3(2) 疾病千人率の推移【全船種】

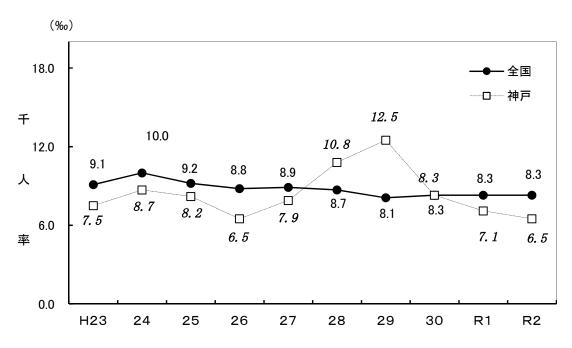


図-3(3) 疾病千人率の推移【一般船舶】

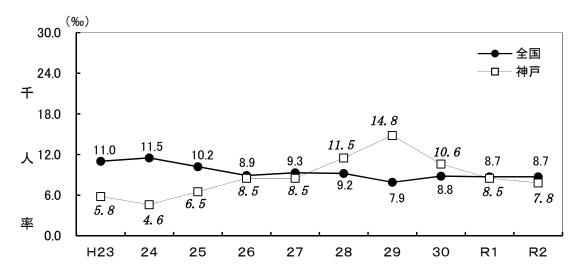


図-3(4) 疾病千人率の推移【漁 船】

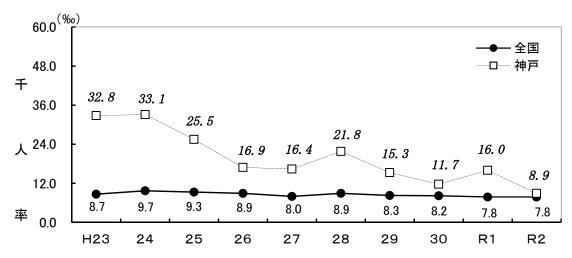
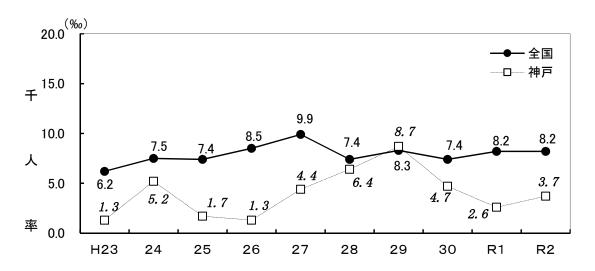


図-3(5) 疾病千人率の推移【その他船舶】

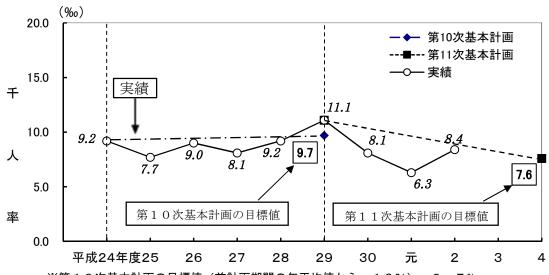


#### (3) 船員災害防止基本計画の減少目標と神戸運輸監理部管内実績の推移

第11次基本計画の2年度目となる令和2年度は、災害千人率は目標値を0.8 ポイント上回り、疾病千人率は目標値を1.5ポイント下回りました。

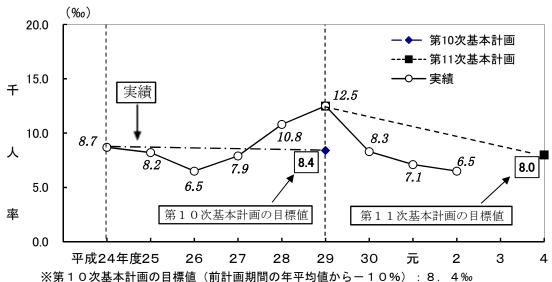
災害千人率、疾病千人率ともに、平成30年度、令和元年度と減少傾向でしたが、 令和2年度は、災害千人率で増加する結果となりました。

#### 図-4 災害の減少目標と神戸運輸監理部管内実績の推移



※第10次基本計画の目標値(前計画期間の年平均値から-13%):9.7% 第11次基本計画の目標値(前計画期間の年平均値から-16%):7.6%

#### 図-5 疾病の減少目標と神戸運輸監理部管内実績の推移



※第10次基本計画の目標値(前計画期間の年半均値から-10%):8.4‰ 第11次基本計画の目標値(前計画期間の年平均値から-13%):8.0‰

#### 3 災害発生状況の詳細

#### (1) 作業別災害発生状況

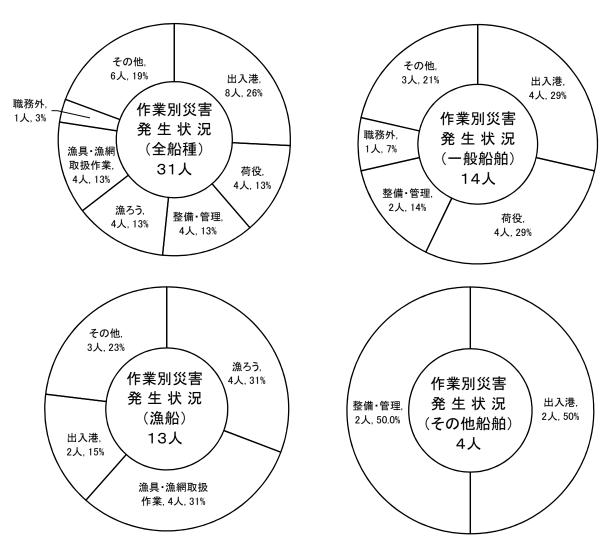
職務上災害を作業別にみると、全船種では出入港作業による災害発生が8人(発生総数31人中の26%)と最も多く、次いで荷役、整備・管理、漁ろう、漁具・漁網取扱作業が4人(13%)で並んでいます。

各船種別には、一般船舶は、出入港作業と荷役作業での災害発生が最も多くなりま した。

漁船は、漁ろう作業と漁具・漁網取扱作業の災害発生が最も多く、漁船全体の62% を占めています。

その他船舶は、出入港作業と整備・管理作業が同数で災害発生全体を占めています。

図-6 船種別にみた作業別災害発生状況



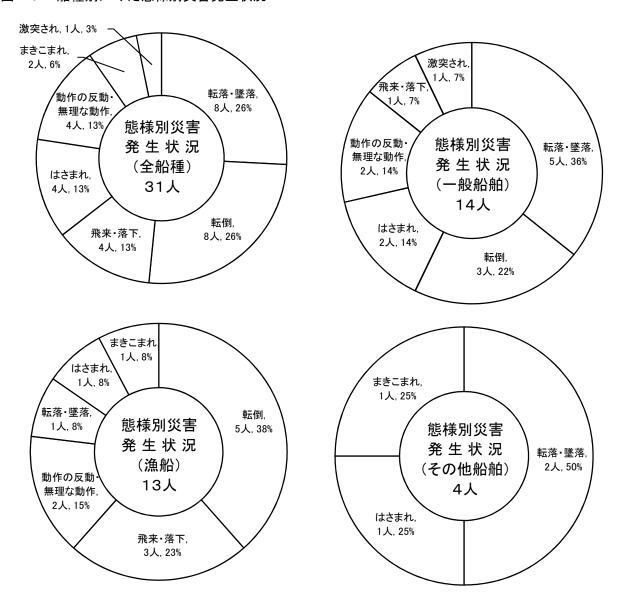
#### (2) 態様別災害発生状況

全船種では、転落・墜落と転倒による災害発生が8人(発生総数31人中の各26%)と同数で最も多く、次いで飛来・落下、はさまれ、動作の反動・無理な動作が4人(同13%)の同数で続いています。

各船種別では、一般船舶は、転落・墜落の5人が最も多く、次いで転倒が3人となっています。

漁船では転倒の5人が最も多く、次いで飛来・落下が2人となっています。 その他船舶では、転落・墜落が2人で最も多く、次いではさまれ、まきこまれが 1人の同数となっています。

#### 図-7 船種別にみた態様別災害発生状況



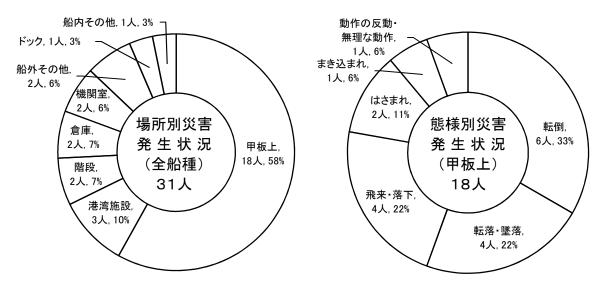
#### (3) 被災場所別災害発生状況

全船種では、甲板上における災害発生が18人(発生総数31人中の58%)と全体の半分以上を占め、例年と同様突出しています。以下、港湾施設が3人(同9.7%)と続いています。

特に発生が多い甲板上の災害について、態様別にみた場合、転倒が6人と最も多く 全体の33%、次いで転落・墜落、飛来・落下が各4人で22%となっています。



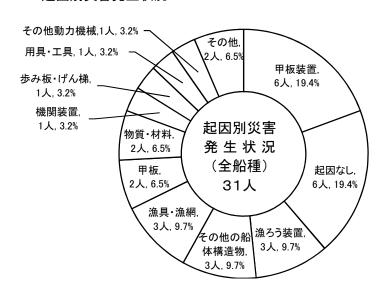
図-9 甲板上での態様別災害発生状況



#### (4) 起因別災害発生状況

全船種では、甲板装置を起因とする災害発生と起因なしが6人(発生数31人中の19%)と同数で最も多く、次いで漁ろう装置、その他の船体構造物、漁具・漁網がそれぞれ3人(同9.7%)と続いています。

#### 図-10 起因別災害発生状況



#### (5) 年齢別災害発生状況

年齢別で見ると、30歳代と50歳代の災害発生数が7人(発生総数31人中の23%)と同数で最も多く、次いで40歳代と60歳以上が6人(同19%)となっています。

また、災害千人率では19歳以下が30.8%と最も高く、次いで30歳代の10.2%、 となっています。

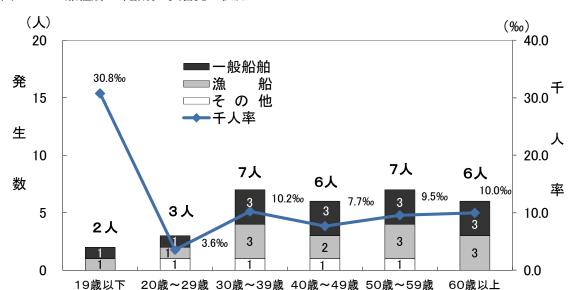
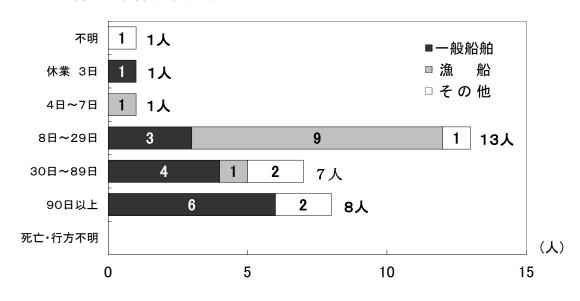


図-11 船種別・年齢別の災害発生状況

#### (6) 程度別災害発生状況

全船種では休業日数8~29日の災害発生数が13人(発生総数31人中の42%)と最も 多く、次いで90日以上が8人(同26%)となっています。

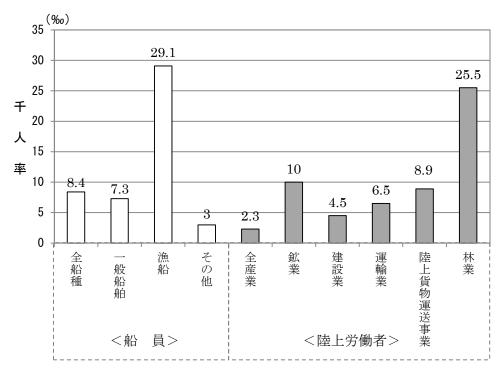




#### (7) 陸上労働者の死傷災害との比較

全国の陸上労働者の死傷災害と比較すると、一般船舶・その他船舶においては鉱業や陸上 貨物運送事業などの業種を下回ったものの、漁船においては、陸上労働者で最も千人率の高い 林業を上回る結果となりました。





※船員の千人率は、陸上労働者と比較するため、休業4日以上の千人率として算出。

※陸上労働者の千人率は暦年(2年1月~2年12月)で集計されたもの。

出典:厚生労働省「職場のあんぜんサイト」 <a href="http://anzeninfo.mhlw.go.jp">http://anzeninfo.mhlw.go.jp</a>

#### (8) 死亡及び行方不明災害の概要

表-4(1) 災害による死亡者等の概要

	職名	i ;	船 種	発生時作業	発生年月日
	年 歯	Š.	総トン数	態様	災害のてん末
死					
Ė					
行方不明					
明					

表-4(2) 過去10年の死亡・行方不明災害の推移

白	E 度	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	\B + 10 \F @
死亡・	行方不明者数(人)	0	3	1	0	0	2	4	0	2	0	過去10年の 死亡・行方 不明者の数
	" 千人率(‰)	0.0	0.7	0.2	0.0	0.0	0.5	1.1	0.0	0.5	0.0	不明者総数
船	砂利採取運搬船		2					1		2		5
種 別	押し引き船			1			1					2
死	漁 船						1	2				3
<del> </del>	貨 物 船							1				1
行	起重機船											0
方	油タンカー											0
田明	ケミカルタンカー											0
者	ガスタンカー											0
数	自動車運搬船											0
人	セメント専 用 船											0
$\sim$	旅客船		1									1
職務	外総数(内数)		1	1			1					3

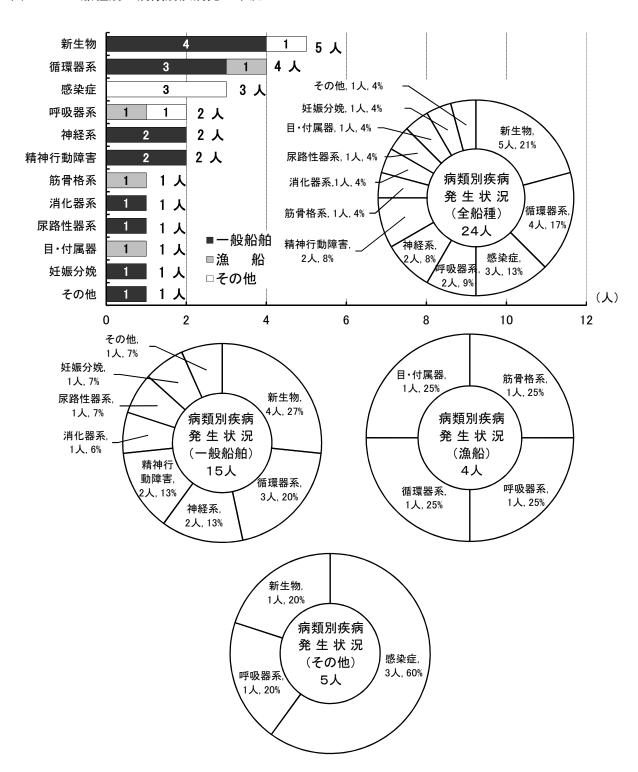
(注) 死亡・行方不明者数は「職務上」、「職務外」を合算したもの。

#### 4 疾病発生状況の詳細

#### (1) 病類別疾病発生状況

全船種では、新生物の疾病発生が5人(発生総数24人中の21%)と最も多く、次いで循環器系、感染症と続いています。

図-14 船種別の病類別疾病発生常況



#### (2) 年齡別疾病発生状況

全船種では、60歳以上の疾病発生数8人(発生総数24人中の33%)と最も多く、次いで30歳代の6人(同25%)となっています。

年齢別の疾病千人率で見ると、60歳以上が13.3%と最も高く、次いで30歳代の8.8%の順となっています。

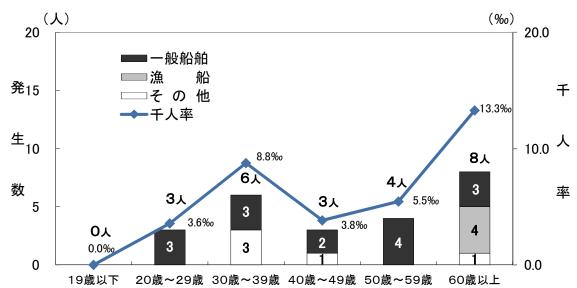


図-15 年齢別疾病発生状況の比較

#### (3) 程度別疾病発生状況

全船種では、休業日数30日~89日を伴う疾病発生が10人(発生総数24人中の42%) と最も多く、次いで8日~29日の7人(同29%)が続いています。

一般船舶及び漁船では、休業日数30日~89日を伴う疾病発生が最も多く、その他では、 8日~29日が最も多く発生しています。

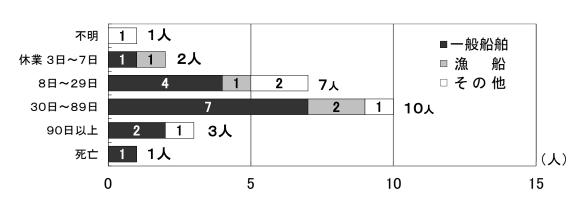


図-16 船種別の程度別疾病発生状況

# 資 料

## 目 次

表-1	作業別・態様別の災害発生状況・・・・・・・ 18
表-2	場所別・態様別の災害発生状況・・・・・・ 22
表-3	起因別・態様別の災害発生状況・・・・・・ 23
表-4	年齢別・船種別の災害発生状況・・・・・・ 24
表-5	被災程度別・船種別の災害発生状況・・・・・・ 24
表-6	病類別・船種別の疾病発生状況・・・・・・・ 25
表-7	年齢別・船種別の疾病発生状況・・・・・・・ 26
表-8	年齢別・病類別の疾病発生状況・・・・・・・ 26
表一 9	程度別・船種別の疾病発生状況・・・・・・・・ 26

表-1(1) 作業別・態様別の災害発生状況(全船種)

													<u></u>	<u>·位 : 人</u>
					職		矛	务		上				
11	業別	合	出入	荷役	運 航 •	整 備 •	調理	ろ	取漁扱	漁 獲 物	その他	不	職務	不
態様別		計	港 作 業	作業	運転作業	管理作業	作業	作	作漁業網	取扱作業	の作業	明	外	明
合	計	31	8	4		4		4	4		6		1	
転落	• 墜 落	8	2	2		2		1			1			
転	倒	8	1	1				1	1		3		1	
激	突													
飛来	・落下	4						1	2		1			
崩壊	・倒壊													
激突	され	1				1								
はさ	まれ	4	2	1					1					
まきじ	込まれ	2				1		1						
切れる	こすれ													
踏み	ぬき													
海中	転 落													
爆	発													
火	災													
海	難													
酸	欠													
中	毒													
高温・物との	低温の 接触													
感	電													
動作の無理な	)反動・ よ動作	4	3								1			
そ 0	D 他													
不	明	\ <del></del>		TL マドム										

表-1(2) 作業別・態様別の災害発生状況(一般船舶)

														<u> 位 : 人</u>
					職		矛	务		上				
作	業別	合	出入	荷役	運 航 •	整 備 •	調理	ろ	取 漁 扱 具	漁 獲 物	その他	不	職 務	不
態様別		計	港 作 業	作業	運 転 作 業	管理作業	作業	う 作	作 漁 業 網	取扱作業	の作業	明	外	明
合	計	14	4	4		2					3		1	
転落·	墜 落	5	1	2		1					1			
転	倒	3	1	1									1	
激	突													
飛来・	落下	1									1			
崩壊・	·倒壊													
激突	され	1				1								
はさ	まれ	2	1	1										
まき込	∖まれ													
切れる	こすれ													
踏み	ぬき													
海中	転 落													
爆	発													
火	災													
海	難													
酸	欠													
中	毒													
高温・物との	低温の)接触													
感	電													
動作の無理な		2	1								1			
そ O	) 他													
不	明							力粉で						

表-1(3) 作業別・態様別の災害発生状況(漁船)

													- 早	<u> 位 : 人</u>
					職		矛	务		上				
作	業別	合	出入	荷役	通航・	整 備 •	調理	ろ	取漁扱	漁獲物	その他	不	職務	不
態様別		計	港 作 業	作業	運転作業	管理作業	作業	う 作 業	作漁業網	取扱作業	の 作 業	明	外	明
合	計	13	2					4	4		3			
転落·	墜 落	1						1						
転	倒	5						1	1		3			
激	突													
飛来•	落下	3						1	2					
崩壊・	倒 壊													
激突	され													
はさ	まれ	1							1					
まき込	まれ	1						1						
切れこ	:すれ													
踏み	ぬき													
海 中	転 落													
爆	発													
火	災													
海	難													
酸	欠													
中	毒													
高温・値物との	低温の 接触													
感	電													
動作の無理な		2	2											
その	他													
不	明			ひっぱん				力粉で						

表-1(4) 作業別・態様別の災害発生状況(その他)

単位:人 務 上 作業別 運 漁 職 合 取漁 そ 不 出 漁 荷 備 航 獲 不 の 扱 具 入 ろ 物 役 理 務 他 う 港 運 管 取 作 漁 の 作 作 転 理 扱 作 作 計 明 作 外 明 作 作 作 業網 態様別 業 業 業 業 業 業 業 2 合 計 2 転 落・墜 落 転 倒 激 突 飛来・落下 崩壊・倒壊 激突され 1 はさまれ 1 まき込まれ 切れこすれ 踏みぬき 海中転落 爆 発 火 災 海 欠 酸 中 毒 高温・低温の 物との接触 感 動作の反動・ 無理な動作 その他 不 明

表-2 場所別・態様別の災害発生状況(全船種)

															<u> 푸 I</u>	<u>立:人</u>
					船				内				船	<b>i</b> :	外	
場所別	合	ブ	自	田	食	調	通	階	倉	機	そ	不	7	港	そ	不
		IJ		板	堂	理				関	の		ッ	湾	の	
態様別	計	ッ	室	上	等	室	路	段	庫	室	他	明	ク	施	他	明
)E(14/3)		ジ	_	_	77	+	РΗ	12	<b>/</b> -	+	2	7,		設		
合 計	31			18				2	2	2	1		1	3	2	
転 落・墜 落	8			4					1		1			1	1	
転 倒	8			6				1					1			
激  突																
飛来・落下	4			4												
崩壊・倒壊																
激突され	1								1							
はさまれ	4			2						1					1	
まき込まれ	2			1						1						
切れこすれ																
踏みぬき																
海中転落																
爆発																
火 災																
海  難																
酸欠																
中 毒																
高温・低温の 物との接触																
感 電																
動作の反動・ 無理な動作	4			1				1						2		
その他																
不 明			<b>-</b>													

表-3 起因別・態様別の災害発生状況(全船種)

																			<u>立 : 人</u>
起	因別	小	甲	漁ろ	機	加	その他	冷	甲	歩み	その他	用具	積	漁具	物質	波	起	そ	不
			板	つう	関	エ	他の	凍		板	の	· ·		<b>共</b>			因	Φ.	
\			装	装	装	装	動力	装		げ	船体	ェ		漁	· 材		な	の	
態様別		計	置	置	置	置	機械	置	板	ん 梯	体構造物	具	荷	網網	料	浪	L	他	明
合	計	31	6	3	1		1		2	1	3	1		3	2		6	2	
転落·	墜落	8	3	1							2						1	1	
転	倒	8	2						2					1	1		1	1	
激	突																		
飛 来·	落下	4					1							2	1				
崩壊・	倒壊																		
激突	され	1										1							
はさ	まれ	4	1	1						1	1								
まき込	≥まれ	2		1	1														
切れこ	こすれ																		
踏み	ぬき																		
海中	転 落																		
爆	発																		
火	災																		
海	難																		
酸	欠																		
中	毒																		
高温・低物との	氐温の 接触																		
感	電																		
動作の無理な		4															4		
そ σ.	他																		
不	明							. ,			まです								

表-4 年齢別・船種別の災害発生状況

							무位.八
,	船種別	構成人数	災 害 千人率	災害	船	種	別
年齢別		件,及人致	(‰)	発生数	一般船舶	漁船	その他
合 計		3,710	8.4	31	14	13	4
		3,710	0.4				
19才以下		65	30.8	2	1	1	0
197 以下		00	30.6				
20才~29才		842	3.6	3	1	1	1
203 19293		042	5.0				
30才~39才		685	10.2	7	3	3	1
304 - 394		000	10.2				
40才~49才		783	7.7	6	3	2	1
403 ~ 493		700	7.7				
50才~59才		733	9.5	7	3	3	1
504 ~ 594		733	9.0				
60才以上		602	10.0	6	3	3	0
007 以上		002	10.0				

(注) 表中( )内は、死亡及び行方不明者数を示し、内数です。 構成人数は、令和元年度災害疾病発生状況報告書によるものです。

表-5 被災程度別・船種別の災害発生状況

単位·人

					<u> 単位:人</u>
程度別	船種別	合 計	一般船舶	漁船	その他
合			14	11	6
	休業 3日	1	1		
職	4日~ 7日	1		1	
1,20	8日~29日	13	3	9	1
務	30日~89日	7	4	1	2
135	90日 以 上	8	6		2
١.	死亡・行方不明	0			
上	不 明	1			1
	小 計	31	14	11	6
職	死亡・行方不明	0			
務	そ の 他	0			
外	小 計	0	0	0	0

表-6 病類別・船種別の疾病発生状況

					単位:人
病類別	船種別	合 計	一般船舶	漁船	その他
合 計		24 (1)	15 (1)	4	5
	そ の 他 の 感 染 症	3			3
感 染	Ē	3			3
	胆 石 症	1	1		
消化器	<b>小</b> 計	1	1		
	脳 梗 塞	2	1	1	
	- - 痔 核	1	1		
循環器	脳内出血	1	1		
	小計	4	3	1	
	肺炎	1		1	
呼吸器	その他気管支炎	1			1
	小計	2		1	1
筋骨格	条	1		1	
	小計	1		1	
	自律神経障害	1	1		
神経	てんかん	1	1		
	小計	2	2		
	良性 新生物	2	2		
±c / <del>-</del> /-	悪性新生物	2 (1)	1 (1)		1
新生!	別 胃の悪性新生物	1	1		
	小計	5 (1)	4 (1)		1
	神 経 症	1	1		
精神行動障	その他の精神行動障害	1	1		
	小計	2	2		
目・付属	その他の目の疾患	1		1	
	小計	1		1	
尿路性器	結 石	1	1		
冰崎注稿:	小計	1	1		
妊 娠 分 :	流產	1	1		
*I %K 77' !	小計	1	1		
その・	せ そ の 他	1	1		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

表-7 年齢別・船種別の疾病発生状況

新種別 年齢別	合 計	一般船舶	漁船	その他
合 計	24 (1)	15 (1)	4	5
19才以下	0			
20才~29才	3	3		
30才~39才	6	3		3
40才~49才	3	2		1
50才~59才	4 (1)	4 (1)		
60才以上	8	3	4	1

<sup>(</sup>注) 表中( )内は、死亡及び行方不明者数を示し、内数です。

#### 表-8 年齢別・病類別の疾病発生状況(全船種)

単位:人

病類別								病				类	頁				別				
年齢別	構成人数	千人率 (‰)	合	感染症	新生物	血液	内分泌	精神行動障害	神経系	目・付属器	耳·乳様突起	循環器系	呼吸器系	消化器系	皮膚	筋骨格系	尿路性器系	妊娠分娩	先天奇形	その他	不明
合 計	3,710	6.5	24 (1)	3	5 (1)	0	0	2	2	1	0	4	2	1	0	1	1	1	0	1	0
19才以下	65	0.0	0																		
20才~29才	842	3.6	3					1				1								1	
30才~39才	685	8.8	6	2	1			1					1					1			
40才~49才	783	3.8	3	1					1								1				
50才~59才	733	5.5	4 (1)		3 (1)				1												
60才以上	602	13.3	8		1					1		3	1	1		1					

<sup>(</sup>注) 表中( )内は、死亡者数を示し、内数。

表-9 程度別・船種別の疾病発生状況

単位:人

				<u> </u>
上。	合 計	一般船舶	漁船	その他
合 計	24	15	4	5
休業 3日	0			
4日~ 7日	2	1	1	
8日~29日	7	4	1	2
30日~89日	10	7	2	1
90日以上	3	2		1
不 明	1			1
死 亡	1	1		

構成人数は、令和元年度災害疾病発生状況報告書によるものです。